

準天頂衛星（みちびき利用）システム全体像

MSK(株)では準天頂衛星を利用したソリューションを以下の図の通りイメージしております。

準天頂衛星を日本版測位衛星でその制度はサブセンチメートルを実現し現在4基、最終的には7基体制を予定しておりこれにより日本上空には絶えず3基以上で測位サービスを提供し地上から空が見えればそのサービスを受けることができます。このサービスを利用しシステムを実現可能なものとしております。

測位衛星は日本ばかりではなく東南アジア、オーストラリアもカバーエリアとしております。

通信システム

・測位衛星の端末とLPWAの通信システムを組み合わせることにより山林に従事する方に持たせることにより携帯電話が届かない所でも簡単に通信設備を構築し絶えず端末から位置情報を事務所に発信することが可能です。利用例として災害や事故が発生した場合職員がその旨を通報する。事務所から緊急の情報を発信する等双方向で通信が可能になり職員の安全、安心を図ることが可能

災害の等で救助に向かう場合でも端末から位置情報を絶えず発信しているので早期発見が可能。

【一斉同報】
〇〇に避けてください!!!



場所・安否確認!

山林向けシステム



【測位衛星】



② 衛星測位



【位置情報通信端末】

緊急情報
救援要請



【事務所】

山林測量システム

・測量端末は測量予定のポイントに置き測位衛星対応の受信機で測定しそのデータをLPWAでリアルタイムで事務所に送信可能になります。また事前に測量端末にダウンロードした地図の緯度経度により的確に測量を可能としその場で確認可能となります。※特許取得

拡張機能として国土地理院の地図に準じる地図を作成可能とし、近隣の土地評価額が土地所有者と地図の一元管理も可能となります。



【測位衛星】

【受信器】



【位置情報処理装置】



【中継器】

【LPWA通信】

【送信機器】

パソコン(クラウド)(処理用)

